地町川上 政策を説く

英首相平和

イギリス政府の外交政策の目標

デンバラ保守黨地方大倉に際み、バレン首相は十二日午前十一時二 イギリス政府の平和政策を帰躙左 【エデンパラ十二日同盟】 チエン

線とする南京攻防戰の本格的戰闘は開始されんとしてゐる抗日の祭壇上に捧げた上海攻防戰は、支那軍の悲劇に終り戰局はいよ~~第二の段階に進んで崑山、太倉を第一じて陰巌されてゐるが、目の邊りに見る敗戰に次ぐ敗戰は政府及び民衆の士氣を全く悄沈せしめ、莫大な犧牲をじて陰巌されてゐるが、目の邊りに見る敗戰に次ぐ敗戰は政府及び民衆の士氣を全く悄沈せしめ、莫大な犧牲を の餘儀なきに至らんとしてゐる、皇軍が戰ひの火蓋を切つて以來丁度三ケ月目である,全滅を恐れ血路を開いて機點嘉定の敵陣は今十三日朝來動搖の色頗る澁厚なるものあり,茲に上海附近の敵軍は懇崩れとなつて敗退する **潰走する敵は我空軍の猛攻に狼狽しながらも抗戦し、戦死、戦傷、戰病、投降、逃亡者等趙出して既に戰闘員の過半** 敷を失ひ、十氣沮喪して先を爭つて太倉方面に潰走中である,その損害程度は南京政府の新聞檢閱によつて辛う り大混亂を來し、南市より次第に崩れはじめ江襷鎮、盧翊の主陣地は相次いて陷落、死を賭して周守した左翼の 敵の鼠を衝いて上陸した新銳上陸○○部隊は敵を左右より挾撃し、敵陣は右翼方面より重壓を受けて全戰線に亘 江橋鎮等の平地要害とも稱すべき堅陣によつて長ヵ三十餘萬を耀し我が軍を邀撃せんとしたが「電光石火の如く【上海十三日同盟】大場鎮の一戦に敗れた友那軍は楊子江岸より南市に至る蜿蜒七十キロに亘る劉河、嘉定,南翔 肝の第二次参加担否通告を総受し 「飲食するものと見られる、日職「プラッセル中二日同盟」市國政」就を行ひ、限告書作成案を控機し 九日外国西社に任興する形式

に協力、脱走する艦を攻撃する。関し全力をあげて陸軍の追撃敵 昨十二日海軍航空隊に荒天を一二、加藤大尉の指揮する資浦江封 共に無婦方面の軍事行動並に 多大の指席を興へたり 筆と有効なる行動により、節数 鎖船塔別作業は昨夕総路なる計

より封鎖支那汽船中和を曳いて

安田的除は神界側に據る比良、 間せり、この作業に属り職職隊 杭州戦線の新鋭隊

際は南市に蘇加上陸を決可して午後五時佐藤大尉の指揮する部 衆除に別難する敵の機関銃隊に 對し砲隊を加へ、これに先立ち

出せる陸軍部隊と超力し

駆及び封顧啓開作業を容易なら 紹公司倉配附近を占領、折開過 の私的食液並に各代表部間の誤解 ン「ギリス代表並に各自治領代表 |殿府の回答については十二日午

司会議を開催するとになった、帝 た九ヶ國條約實職は、十三日午前

と見られる。但しイーデン外相は概を開催可報告書を可決するもの

はないかと見られる

我拒否通告と

各國の意向

時非公開を以て再開、午後公

日は休存としその開合代表部は夫

し、結局アメリカ代表の提案に基とは無益であると云ふに意見一致 以府に對し第三次通牒を繋ずるこ のであり日本が日支直接受渉方針 により、日本の回答は最後的のも 整持することが判明した以上、 全く失はれた、從つて今後日本 議に日本と交渉する餘地は最早

當然の處置

ソ十二日间盟特派員】ド

獨政府の意向

改した。右は何れも軍事上の重要 | 後公開會議にてデザイスアメリカ | 楊家藤樹橋、金号は一番、乃主聖芸を作成する漢か有力 議し今後の対策を協議した後、午 護においては日本の振客間等を転とたった。中三日午前の非会別會 く音識の無過を記録する特別報告 諸に對する日本政府の再指否通告 に對して極めて原解ある態度で當 イツ政府は九ヶ國條約會議発加招

日を限り米國人經濟ウイリアム・ 内橋並に其所屬介配は突如去る九

ンド商會に任興する行士三日藤

一概を態取した批別戦争の新規部を追撃しつつ於興に殺到した

十二日同盟特温員」機、同縣域を一盟に突破の後敗走の敵

嘉興に殺到す

日補機が革の飯を輸載し

一ケ月振りで

代表、イーデンイギリス代表以下 の原向は次の如じと見られる。 の原向は次の如鉄は一九二二年九ヶの原向は次の如鉄は一九二二年九ヶ 然の越散と見てゐる、ドイツ政府

一、然しドイツ政府は世界革和のの説明は営づける

おいまりとい

地転で表準の占塚地域内にあるも

作業により輝くこれらは逆船数度。手中に騒するに至つたが我が発覚快免険の景吹なる離前、数に十二日正午に至つて全く我が

手中に除するに至った

協調浦、浦東間の航行を遮断した 服及びジャンクを定めて資産に、

上海十二日同盟』亦郷發生と共

一郎小瀬部隊は九日松江を占領、更

黄浦江開通す

条那軍は我か日潘汽船所有の船 | に小郷部隊は十一日正午松江の東

北方北橋館を占領した、上海松江 間階略並に資棚江の水運による運

成功し、十二日氏から三ヶ月振り

米商會に貸與

支那の不信行為

吉理部隊は後継部隊と共に十二日 七時大名城に突入した坂西部隊、 いジャンクを能法し水運の開連に

|松江十三日同盟||杭州震上院新 | 【上龍十三日同盟】支那の國有代 | 午前に至り添く髪戴の播源を終り | 【東京電話】上海等偏の住に買つ 【百家非士三日間望】十一日午後 | 同正午には坂西部隊提以下我が將 | てゐたアメリカ聯選機パルマー號 兵は歩武堂を大名城に入城した 米州横濱に入港

粗貝配安を兼ね十二日午後十時被 (二)五〇曜) は郷便物交換と彩

込み再び上海に向ふはずである 続に來る世三日郵便物での他を検 派に入港声鳴に繋留された、前回 我第二次通告

白政府に到着

濟南及び黄河江上の

戦機は愈よ熟す

だはらず草磯で日本政府の終果 今郷を利用して再度協関した 保 のだから、日本政府が拒否の 三日同盟 九ケ國族約議會は臨んであるとい (株代表プ市へ 「スリートの関終約議會に臨んであると)

利風音儀の再招請に載する帝國 プラツセル十二日同盟] 九ヶ崎 伊外相きの - 氏は何時でも日本 | ツセルに向った、毎同氏は十二日

の後はブラッセルに扱いてイ を終へて昨十二日り別パリ酸ブラ 西代表テルボス外相は、倉職再用

何楽の成業なく全く途方にくれて 欧府の第二次担否通告は十二日後 ルギー政府に動産した、各國代 チャノ作は昨十二日キジ宮に堀田(6日本政府の第二条揺洒遺音と騒(ローマ十三日同盟)。伊太利外相(いが九ヶ國旅校育議等招籍に對す 堀田大使と懇談

儿國會議對策協議

②二步云部隊續々前進─上海戰線

| 「大声十二日||短|| 法清報決削地 | 楽しつよ十日午前慶武が近におい | 同名東北部の豪宙武定(美山東南 / での海殿を指導して建筑連川(食 で三千の殿と観覧された歌歌して / カニ十里)の殿を観映し向地を出 | 郷市及げ資育行業の海殿を指導して建筑連川(食 で三千の殿と観覧された歌歌して / カニ十里)の殿を観映し向地を出 | 郷市及げ資育行場の海線を指導して建筑|| におい | 同名東北部の豪宙武定(美山東南 | その四個をつか

で三千の難と歌戦これを歌踏して一端しつよす日午前島歌州近におい

山東の要衝『武定』占領

十二日本社流程の戦及循網 暦所統部隊の北進も目標ましく

敵を追って南市城内に突入、城 前三時プランス犯罪に近入する 上海戰線 旅行攻擊空機行 った戦戦も挟み奪わにあって全に振立して頑強な抵抗を傾けて 内の残職措施に努め午後四時半 た川並、魔様丽部隊は十三日年 には十六角南縄頭の脱脚建物内

概定は、御嶽可を得て十三日官領

「東京電話」去る十月二十七日、

官報を以て公布

日十貿易協定

見夜十時安存線を占領した新媛・東を積け自襲機能を扱いて十一 清浦から一集に選撃した間本、 **藤村、猪木各部隊は十一日夕到** 指導線く転州河を突破して追

難々しい總攻撃を開始してある。更に憲定、太倉、昆山を目標に 〇〇部除は十一日大名附近に握 師を難破し政行の勢で東進した 京漢戦線が誘いの部門で

た抗日電線に跳り出でんとすると、まれている。 確保するに至り残威的代を開始 を粉砕、更に療療四南ニキロの 統行され中平部隊の精御が出動 拠けて空軍も出動、十一日は石 川東軍の首都議南援撃も十一日 してゐるが地上部隊の討伐極を

双庙及び漳河鐵橋に

夜襲の敵を反撃

ロ螺々帯川崎橋に在職して来たが、総理、手術理多数を造業して淑彦 二岐ごろえそ四百の解が京瀬親望、の反戦を受け、離に死勢五十、小 【石家莊十三日同盟】十二日午前 | 何れも我軍の守備隊及総道報備隊 | 支那代者

である

蘇聯尖る

[ニューローク

會議經過を記錄する

鯉登部隊戰死者

報告書作成案有力

九ケ國條約國會議

【ベルリン十二日同盟】蔣介百の 蔣方震 ちかく ヒ總統ご會見

> 勝へられてゐるが、十一日じと言 協定の成立に依つてソウエートは

マ本國に推測し、一方会議串解局 ければならないので、食儀報告書 は報告書草案を作成十五日金融倉「採練を契機に當分休食に入るので」 て競争するものと見られる。日職「王レオポルト…世を遡へるため、 イギリスを訪問されるベルギー 十五日中に一旦ロンドンに踊らな リンに翻選、いよく近くにトラ 助を興へてゐたが、小日再びベル 派代表の活動に對し種々側面的援 便程天放と共に主る五日プラツセ 特便所方質はベルリン駐部支那大 ルに赴き九ヶ國條約會議に臨む支 ラー總統と育見するが、右舎見蔣方護将軍はいよ了へ近くヒト高局は十二日左の如く違べた 石につきベルリン駐割支船大使常 · 新垣線動務 · 新垣線動務 · 新屋側由務官 市新森州郵便局長 橋本灣信副事務官 橋本 に推選されたと音はれてある

遞信辭令(十四日)

京畿道辭令(十二日 青山

年五郎便廃止の決議で困ったの は代義士田の政務官籍公果せ

平) 十三日朝人城不知火底部,〇大町和左吉兵(咸興地方法院衙 ◆中島司氏(朝鮮中央協会理事)

◇朴黒術氏 (利信事務) 阿上 接拶のため十三日本社来訪 接拶のため十三日本社来訪 日々のぞみ々で退城

ードされてある。ちなもの の解決に達す。との我回答文 九四合議はまるで日本か 當事國川の起理こそ、公正に

カの果有力者はAP特派員に對し

【プラツモル十二日周盟】 アメト

ため朝を以て範を示されたい

る以上、率光してパルプ機能の

記官是一緒君は國家の官吏であ

く撃たし、意識は風見香北省長

と難したところ連石の御一回全

米某有力者語る

日本の正義に終設構造する

、墓して、九ヶ隣な職の封策に就い

〇〇部隊も西北に連撃して十二 の機能射撃の下に猛攻、午後し

が方はかくる不信行為にはあく 類人た南郷も安観また夜襲を縦 郷、南市は完全に投が手中に帰 **熊华和知、濮阳、坂口、常岡各** 即隊が一層に南越市郷に與入、 た、一万職が重要防衛振動と れを完全に占導した。また上

既定方針を以て臨む管である

機を来して西方及び西北方に流 領を占領した、かくて金面的崩 日正午には崑山東南方の砂銭橋

生する敵軍道つて我が諸部隊は一種はてゐた京婆凝積漢東方の何

名募城に突入しこれを占領した時十分坂西部隊が西北州上り大 また工権的隊は八日以来攻撃を

巨海を見禁つて大打撃を興へた

る。北北軍の敗銭兵・・師を他兵 子旦

後八時廿分占領した野奴の蔵大軍を破って十一日午 空爆戦線(予北支の皇軍

◆安井尚氏(高周波常動)十三日

長)明年炭漿算折衡のため十三分度付重正氏(本府財務局前計録約四日滯在の強定 日午後四時十五分「あかつき」

る战十二日の政務官會議で滞音

かという一段 次の選挙版に

天地支黃

たつたが、これを聞いた風見雲

困るのおやない手足が足らんだ ても此の困りゃうはうれしい困 いや(除上施設の不完全に

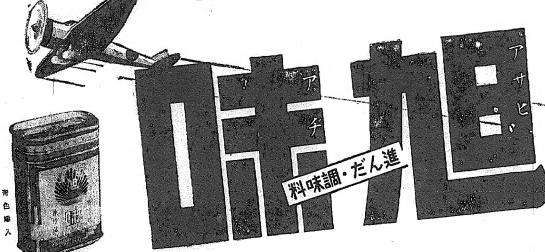
本日夕刊四頁



美味報 國

こ中します。朝夕のお食事を美味銃後の守りは國民体位の向上から す。新しい調味料、地味、はこの 『銃後の守りは旭味から』 使命を百%に果します。 しく召上つてこそ健康も増進しま こばふ





窒素肥 H 本室案肥料株式台 · 料 版 資 体 関野戦智な力 ď 會削

鮮內→手發寶元 資本金二億円 大阪市 北 偶宗是町 1

と飛騨の電報を打ち、東少佐の武 と共に銃後の御安心を乞ふし

選を断つた(宮眞は金少佐)

お子供様の本||寫真提

百五十萬箇に賀狀を添へて

かちごき

北支学上海に韓俄し、畠國日本の一新年を陣中に迎くるとになったが一五十萬萬のそかちに言えを辞越

第十五萬関に資狀を添へて贈るこ | 小寶商に配布し、このカードに統 趣しい層草のかちときの百五十萬 するの質調を取削したカードを各 とになり、弧翼局で具置案を進め一後の人々の住所、氏名を自筆で記

鮮像放射的生つて以来の活躍を示 明鮮佛教三十一本山は今太平堤郷 するこ してゐるが、今回三十一本山住持。今次支那事變別鹽以來、國を娶げ 及強化、銃後の光臓を示して、朝鮮以来真道の管悟、時間退職の普

翩翩と飜る日章旗を仰いで 皇國臣民誓詞を誦和

諸将進日を實践転行する目的から 南山の國旗機構塔までテクインと 子から唯一人官邸を飛び出し、郷にも警衛の人々にも告げず、二時 「元氣が好いのう、城大の學生であります」

と化した検束大門署巡光部長松下

期鮮本部では直ちに菰山陸軍病院 て下さいと差出したので赤十字社

人の土地を使用する場合

行事きまる

無償では罷りならぬ

…加上で城大の際生と製泰院 では、 で概字を加いた、と でしたがある。よし、 でもためなりまだなあ、よし、 でもなかまたないできた。 でもなかなりまだながら、よし、 でもながまたりしい間楽生品をや らればいかの1 と命じた、単生憲は肺に落らは孤

○○部隊長

と意义のするな態度でやさしく別

田伍長 戦死した崎

月丁五日正定附近で敞死した難 留守宅の話

ハ十時間航續の新記録目ざし

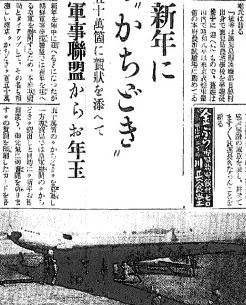
本更津を飛び立つ

分平塚、周八時四十七分維予上空一型設すること、たつた 同七時十九分太田、同七時五十八 し鉄材を避けこれが代用品を以て

押へて取調べた結果この男は中林

孔龍町二丁一三大柳紫将(た)と共 | を求めた

第一回 周斯曼時間



總督は碧蹄館へ

退鮮に際しては

御多忙中態々御

誼を蒙り尚今回

私共多大の御懇

レー式に前茂七回に耳つて同合



武運長久」の機を先頭に郊外 南極者の眼兵を受けて後大

難有厚く御禮申 見送り被下誠に

日夜京被大和町二附近を徘徊

京城で空巢を働く

鐵材を避けよ

賀光

設置され日本精神は頭が上に高揚

ランドセル姿で

が削えて来るので通りかけの西大

宗もない暗闇の中で暗量の弦の墓

果物賣る勇士の子







社會去樣這酒西小。排明開業

「御飯水きに行ったかい利か香」で来た「砂瓶な魚に行ったかい利か香」で来た「お田様はどこへ行つたの」「砂瓶な家族を埋して下さいと持ち出来はことの名」 岸准尉遺族の同情 もんだから母もやんが変く とうくし見からず十三日別龍山かった お父さんが駆倒に行 とうくし見からず十三日別龍山の かった おり しょう しょうしゅう はいしょ かいま しょうしゅう しゅうしゅう

出有化調く 天氣發報(計画) 仁川の潮時 間じ



麦一等完才生堆器山羊穗毛

A B 四周五十歳

▲完全修理濟 ★品質 →五風 要地が工業上ボックス第

○ 特製防寒靴





一級の

特選 紳士用スカーフ 混紺・震茶の格子. ¥ 4.80

解内科定27 特定 紳士用 革 手 袋 國産キッドの手縫仕立

風・茶・黒 ¥ 3.80 電話本間 2) (大東京 中 和 和 内 海 科 2 7 日 東 新 和 内 海 科 2 7 日 東 新 和 内 海 科 2 7 M HEKELT HEREST HTELT TREET HTEL

お茶は本豆清元

/ 一个時のラギオ

は昭和十年十一月九日京城地方法一二巻とも「原告の請求を斃却す」 手取つて所有欄の訴訟を促起、一 有地を通路として無償で使用して、歌が揚つたのである。原判決差別 | 第三氏等十名がこの寒河江氏の所 | す」との新判決例となり原告に問 搭地の所有者行法町二ノ六九市川

院の戦闘にかるる京城竹添町二丁

に來る十二月一日を加し防火デ









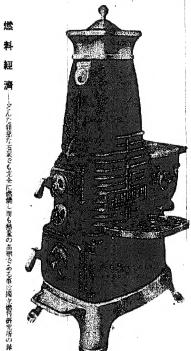






MAMMANA MAMMAN

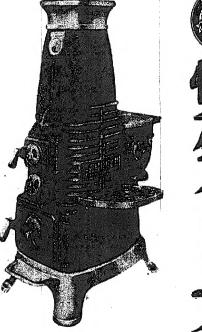
大事別科



お乳のない

赤ちやんに





界 煙炭完全 之 權 燃 威 燒 昭 0 和拾 理 想 旗牟里) 121 1111

星が空一面に燦めいてゐるのが

胸の動機も載まった、頭線の力権。提灯の火と、判ってみればお鱗の

をかけて行く人の手にこげられた

水

西

化けの皮(こ

岩田專太郎圖長谷川 伸作

標商號堂

無砂

0

斯

なく、ストープの製作に精道してゐるのが宣去 なこと生産能力の多いこと及び其の價格の品質 徳本店の經濟方針であります、從つて其の入金 一年を通じて養でも、夏でも、いきさかの殺る

表

¥ 1,00

たり、胃腸が弱り、發育がだん/~痰へます。 くなり、胃腸が弱り、發育がだん/~痰へます。 ですから、 半見こまから

ちゃんの胃膓を過勞させます。

ですから、牛乳には必ずかうした。缺点を補正する

定 價

新 数 NO, 1000 NO, 1006 NO, 1008

に比して御徳用な事は誇るに足るものがあり

♥カタログ贈呈

―(センロク販査店)―

謎

橋

П

金

電話本景〇一四

添加料であります。

糖、葡萄糖などが用ひられてゐます

勝を刺殺するほれがあります。 高級含水炭素を主成分とし、これにピタミ 育見糖ロロンは、 かうした缺点に鑑みて、一 に一種類の含水炭素だけでは、 体内で醗酵 ァミノ酸、 燐酸カルシウム等を配した最新の だ 東京 を すっ 早単乳



京城府元町二丁目

電話率局82225

ですから「母乳がななとも牛乳とロロンで」りますから容易に消化されます。

でんがまる(一丈夫に育ちます。

物

並

金

物

阿

波

屋

金

物

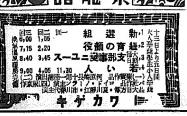
地指仁川 川川大

東京市本町

整 小西新兵術商 整 武田長兵衛商

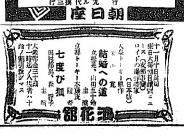








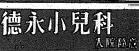
大夫に言うたないまかられているく、赤ちゃんを人工栄養で育てる場合、一番よいて発育に大切な含水炭米をはじめ、種々の栄養素が不足してをり、その上や乳蛋白は胃の中で酸のために大きな凝塊となるので消化がわるく、赤のために大きな凝塊となるので消化がわるく、赤のために大きな凝塊となるので消化がわるく、赤のために大きな凝塊となるので消化がわるく、赤





(3) 日活日活日活日活日活日活日(3)





醫學博士德 永 勲 西山門町牛八裁判所裏通 電話(光) 1960 街

| III | II 7.56 3.20 11.08 手 選 形 花 3.02 4.28 12.15 ス ー ユ ニ 3.19 4.48 12.33 ンモロソグンキ

(大子中主組の記念面)
(大子中

《云々といふ事でございました』 荷上大助器にお目に勝かり戻いと 電鍵す事はたきかと奪わし所、起一非助太夫といふ購入繰りまして、 は安井高館、某首計つ前に、何か一の変権野、並に其の者の兄にて松 | 例「只今小田原等町安井四郎荷倉 華「何本でナ駅助」

担は捨見よ、我嫌で子なきを思い 優れ、物質量しく、男にしても に母の証野、見れば年老ひたると、財紙開けて玄陽へ立出る大助業 かしからぬ技術と思ばれまするが 遊な武士、其れと並んで丈大尺に

てし其の子は即ちお前、総十る所が出ぬ歌を舐らせ乳母を置いて育 が田の歌を舐らせ乳体を置いて育 左衛門様を設信致せしとの事、却来て上へ届けて我が子と為し、蒙 偽策を続き、又角太郎は御主人新 見るは、是れ神上り授かりしもの 存 「其の御佐抄にては恐れ入りまでさいまし」 りました、サア何卒此方へお上り す、私等が作網五郎は御営家にて

000

龍廣貞丈演

木俣炭湘尚 大一生間なずとはおこもからね

(非常時間に機ら復ぶっ 来るのが當然である。)本 それ更け相場の描述も異

大助の苦表 (23)

(主義の大型に関う) は上央時は長く命では、 の数学から見い上の目的に、 の数学から見い上の目的に、 の数学から見い上の目的に、 が数学から見い上の目のに、 が数学から見い上の目のに、 が数学から見い上の目のに、 が数学から見い上の目がからとつ。 数として、数として、数として、間に、 を主義の関係的目的にない。 を主義の同様のにない。 を主義の同様の目がからとつ。 数として、数として、数として、間に、 を主義の同様のとない。 を主義の同様のに、 を主義のに、 を主義の (支井四郎清像の資を行って、情 なたのと近面 我を集入の製なり以上大助は暮の命事をに建った。東が明とすが四郎清像の首、純飲以上大助は暮の命事を記述った。 東、東では同じた。」 だき事を致した。」 とはアト市も乗らるらざるか、 - 像でお前に此の事を請して確

(い事を知るに十分だと) 割をお手に掛けられ、標準落足で、 ・ 本界が収穫によって動 ・ 一・ 幸主情報 ・ もり 自立 育立者 しては南くないと、是まで隠して よしなでは減かさんずうな事があ けば関係を言うひとなかりしもの

19年代本地銀の三丁目 順備動の 新であつたらうのう人。19月代の御、今日本「斯くばかに存換実用場で正調」「接ている事事を削り収の視。人、「治は少数で、何せ、恵以の規(時に登換実用場で正規で、自分する こといませう、龍平田吹う任しま 置いたに通び地 じて記く思えていません。

も知れない

川正米市況

三豆 前、郷主君の命を受けて村上将左、ラ童 るまいものを、今をよる事止一年 前、神主書の命を受けて村上新左 大『携れでは御苑下さいまし』もまいものを、今をよる事止。年 サチ私共は困難ひを』 居前、ワッと泣き出す赤兒の姿。 衛門殿が、殿の御代景として採根 | 劉早かりなば、斯線だ単にはな| 華 「オク共れことは大助が質の母歌 「エッツ」向と云はれる。ブ・今」 いふ事でございます。 お便に、安道を掛けてお成りの途 機現へ参りし所、江戸表より意の 中、通り並つた小田県八幡宮の島

筆「是はくくようこそお感しにな

神佛に郡順を掛けしが、今此の八

G 替 元帝実位 コンダ株 西帝(名)

据境 元片天分二 金块 海绵原片11分1

一面 (千三里)

福芸藝高

先日お前と猟天堂の屋根にて打合」義理ではございませんが、夫曹操 との事いる成らら事なら死骸を頭を御子息大助殿が御手に掛られた 々以て私共が御営宗様へ登られた **教教し、罪り度いと思ひまして厚**

またCCOOMであるまいか」 またこの場合で またれた時に村上大助ビックリ での父親にてはあるまいか」

は死もあれお出りを願います。 第一アム左根でございますか、何頼しくも飛びましてございます。

今お前が首を上げて來た翁こそ、

西 Otao (十二日) 東京コール 東京コール

ならんと、夫新左衛門殿が拾つて 鑑官の前を通って聞らずも捨見を



赤化の害毒黙過する能はず。と 國民政府へ通電を發す

島谷部隊西安を空襲

敞六機を粉碎引揚で

俄然真河に戦機熟す

田長野南部家は蘇田郡長郎席と聞、岸の第一眼松江目がけて西南から

黄河流域を容襲

廣平を占領

却を開始した、崑山市街の一部には火災起り火焔に包まれてゐる

提出の敵後方部隊は本日正午頃からジャンク及び陸路つたびに續々蘇州に向け退

【上海十三日同盟至急報】太倉、

素晴

過ぎる感激

居る、居る、上陸してゐる!

した〇〇部原が阿呂午前十時四十

歌は山東軍第二十九師の二 たゝめ歌は早くも浮足

三日同盟】陶昌縣城を死 | 正午一斉に祀門を聞き記載を加 時間の問題となる

よる反スターリン院野!

(15)

ので風味な立場に連滑

ハチスキー元腕等一味樹

されてある

(郷化するものと様 住してみる藤獺の関内相

黙聯各國大公使を 續々召還檢舉

胡適ご立會演説

明としてアメリカ 席上同して支那何 になった、なほこ三日同盟] 國民使 の午敷に編みその 食飯乾を行ふここでコーター 外変咳痰痰有主催 支制駆じ就いて立 の立意演説は日本

^船 ○定



軍司令部發表

明治座明治上映

ので最近では方々から 臓はずく引受けてき 鮮銀の横瀬理事は古

糖

がある▲此間は土木湖 れだけ聞べたものだと 低頭で一席やつた▲思 成での銀行家には必

科本部隊戰死者

未明を期して總攻撃に移つた我が○○部隊は敵陣の動搖に乘じ突撃を放行して遂に嘉定城

四事人「お

はその研究が出来るら 政党會で理断派長が助 れは前々日

想

月限大引入セント・六○□月▲基準ニューョーク八圓▲受譲月昭和十三年 機動毎に一相につき、 ストリクトミドリン

一般断毎に一緒についています。

び一月▲基準ニューョナ最▲受護月昭和十三 七吋スチーブルー操四

洲国治外法権権競挙権のため入張総理寄附[東京電話 リー政府の歴度を表明した リー政府がお抗議連牒を ユート政府がお抗議連牒を が右連牒に対し回答を發 いてのはない、しかし並んで は大温の様で概糸最前原的。銀織聯合會及び概花 花綿糸 了働 公司公○ [五] 四百元 公司公○ [五] 四百元 の街頭適田の沿道力と で見送つた **八退城** 有政前確領 曾事業費にと金一千個を使者を東京市役所に赴か の如く決定、十三日左 最高標準價格 るの際(窓頂は横瀬氏) 人 人に上る 門門園へ務課理は十 第一三宅検査課長、高松・雅査を経めた、な日渡 した▲この解放的た所 尾四脚帯並に釜山から 頭には官民多数の見き 日午後二時四十分京城 いからわしと平気でき 許特·費專 養滋味美 あに床病 変味、病尿の無聊を感め、 一葉の無寒飲酔へましたら がずや見るべきが果あるを が変味・病尿の無聊を感め、 確信いたします。 をお飲めいたします。 不幸減を得て病用に呻吟しているがのがしさ 一般とてあるとの秋、 ましき歌歌を響き 数となって非常時間に かとなって非常時間に ら部化の必要ないも されなければ戦敗さ 主成分は れませんから栄養に 佐多芳久 心要なく飲めば直ち 東門合理的な活動性 であますから使めて は乳谷児か又は重配 ん のでなければなりま で胃臓の消化作用の 流物度を描る際な人 たとへが野食でも ない。あります。 される成分から出来 リリンのは消化する アミノ酸 果 葡 萄糖

日も早~着手實行すべき

經濟開發の方法如何

地續き朝鮮の協力

と結ぶ

脈々たる北支自治 **冀東自治政府經濟顧問**

天津特務機關經濟工作擔當

館の職勢大製は、窮乏の極密

祐

氏衆の中に盛り上る熱意 可缺となったが、北支民衆の

して、開路が脱。石紋草の爪工器

簡保支排狀況 選信点講 数は子六百五十九件で、 ・ 一 立による十月中の頭節顔のだ

北支の新歴史茲にはじまる

芸に於いてのみ、歴世幾朝かの

極的な態度を執つてゐることに

皇軍尉門金(群を略す)

十一月十二日取扱

《會批業代文店集等員1同 一四、東西主義 日本代音 「東京社業代期結算」 「中国社会」「中国社会」「中国社会」「中国社会」「中国社会」「中国社会」「中国社会」「中国社会」「中国社会」「中国社会」「中国社会」

朝鮮防空器材献金

ゆく胃 触まれ

大日本製鋼株式會戲

100般人 Co公司公姓人 学及以包装定價

が此の旨政府に進言した 見を基礎として、其の一女性度の最本方批を関立せようる。本地就は右の総合的意一中公司、東語等の関係者を以て北

王要港在米增 通銀行業務「無難禁題行民題店賦定期貸付」日本職業員代題店

城南大門通二丁目百四十番地ノー 會社朝鮮殖產銀行

本金巻 千萬 国 回 所六十四ヶ所並に内 を辞る地に支店るり



無味無臭の小粒子に 尊貴特許(製法)

南として汎く賞用せするを以て理想的下

にて緩和且自然的に

して服用し易く少量

らる。

海雪台温泉ホテル 暖 パス、ハイヤ別館 海頭閣 大温泉ブール 房 新 ŀ Æ 浴 槽 六 福

Ŏ

城府南大門通一丁目十九番地

野鮮 信託株式 會社

日**利貸出**出速有利

非常の好評

が

発

双距離試作権は、今務党成以來利利力一萬六千キロの『世紀の實』 総にわたる性能試験を終り、列

中大航空研究所が演出を年の日 五十萬間を投じて製作した航

半島民衆の時局認識

ハ十時間飛行

溫 水

条型の BD CD4 4 1 米 本 年

の移入りの行うとのでは、

大金山本道

三階ノ

せつめい 右(上)猛進又猛進、逃に〇〇高地を占領、バンザーイ(下)和隣りの部屋が養々しいと思ったら気が、バンザーイ(下)和隣りの部屋が養々しいと思ったられたす。 在父さんのほんとうの顔を持ち出しち や駄目ですと」 献明日米、今中突撃への最後の攻撃、非烈すの市海城(中) 経達はよ除さんのお見郷に行さます。 役場は前 りのお禄元です。 「下) けふ歩枝の器りがけに千人計を続うておげました。

ます、その脚では大きい言さんが

オヤの暗かと思つたら、

んでいらつしずるのだもの、止せ そのうち 萌方がパンプ ドン

と各方面で大好いへん効果的だい。

TY 842

評です。

一概だけは飲か

お子さんのある

十ことの出来な い常備薬です。

と増々しく云ひました。

一體銃後の進軍 皇軍尉問繪葉書物凄い賣行き

役の種々相を延端として悪意が動の結果、多数の職事作品でして内鮮一種の質を頼んであます。本心ではこの美しい統一であます。本心ではこの美しい統一のであれているが、一般のは収めたが、受極心は収めたが、受極心は収 これを一般看象傷に脳布するとにいたしました。一組八枚

質紙を使用し薬職らしい出來學えです皆さんの就問袋に

に一家に一部づゝ保存して下さらのも一つの思けつきと物数ら率も影響の大事な砂めと思ひます。また将来の思ひ田

ハガキ内容= [1]金蝉心を一つに武温を斯

小型ニュース

目に遺はせました』と語りました。一鉄後國民からの原則品を送りまし

たが、内容は特別袋が七馬九干餘

甲の「世紀の翼」は続後一高二千郡をめざして製作した長距離飛行 行六十時間の滞空を目標に、十二 が発生政治所が、世界一の復活 第二十所順では表る十日第一級へ「簡「増革五萬節」を料品・宣三十箇一た

京地がこの間占領した北支の太原

た動めがあるぞと云ふこと

全鮮の見歌達が愛國の崇談をこめて本社、番談した県軍殿間作文は、

皇軍慰問兒童作文

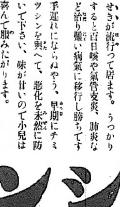
近く第二回目を發送

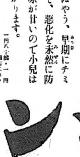
線の精士から郷山の緊囲狀が迷られてをります、歌地はこれからい 製度にごらんの通り数子達りつ高く机上に設まれました。本社では近 第二回目の譲返を行びますが、既に第一回のお手続に對しては第一

記該飯塚柳一郎



客んで服みたがります。 ツシンを興へて、悪化を未然に防 いて下さい、味が甘いのて小兒は















に負ふ折返線

食水を折返線により汽車は南大川

原の機器でこの高原は總で標準

山腹に白く光る

マグネ礦の露頭

0

千二百米の難嶮を征服する

偉大な人力の現れ

釜山から京城平壌に呼びかけて

原料配當確保を期し

近〜聯合會の結成具體化

|祭刊||極入ゴム原料の暴騰で悲||親を主限として同業者に呼びかけ||を執行後一時半から各場校全征、 で指定者の大同関語をはかること 各期體等四千飲名愛加の下に能行

共協定成立を機に即では九日子後 江華の旗行列

長谷を特成し、原料配置と連絡版一一時から江集神動で敷設な素皆祭一のである

納税が第 五日から廿一日まで

側置八、個人二名で左の日割によ 忠北の宣傳週間

十日午前十時(佳谷面裏務所) | 丹陽郡一

質を擧げよ

滞納はわれらの恥

吉岡内務部長の話

開城に航空燈台

工費三萬四で廿日ころ起工

松岳山頂上に建つ

慶北當局强行對策

大體この二點が主膜となってゐる

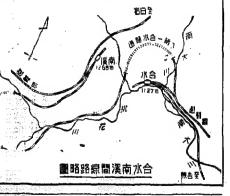
槐山面長後任 一時から色内八十歳以上の布骸者 【別処】精調作典説田第六日(十 |日)の撤密墜幼日に邑では午後 「水原】精神作業期間第六日(十一その数老寮)

20日 府食曜日二名の補供遺

開城の 府議戰

ることしなった

京日事變映畵 二十日 十八日



代表観末吉平氏の勝躍あり、武徳一品の料集式を行つたか八十能から代表観末吉平氏の勝躍あり、武徳一品の料集式を行つたか八十能から 数差費を開催した、水和守、一歳以上の意識者自三十一名を午後四名を公立普遍墨碇溝梁に招(一日)の敬老堂幼日に府では八十一

慶南の關係者評定

各地和やかな敬老會

【仁川】國民精神作裏郷間最終

『田技師と三木道水産課長、慶一名が、ため二三の日く附きに手 一般内の開催の放洗は十一日午

なしで新聞を

も眼が疲れぬ

米作改良の難題

地主獎勵籾の交附を澁り

り放流に決定、これと同時に歴 削入時半から榮町普通船校で管内

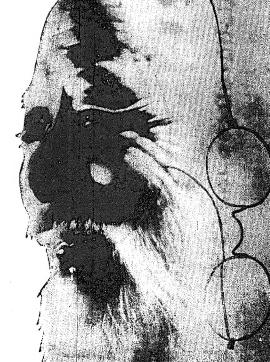
登録者で秋季祝智を質施した消防和ではまる丁日午前一時

被セプランス演院の金県孤張は てた 江郷東局長雲電氏と に江麓」 同業創建日

・シネマと 海刺

早排りに退非一度お試し下さい。 おが、養命酒を試して見ると、意外なキキメがあるが、養命酒を試して見ると、意外なキキメがあいるが、養命酒を試して見ると、意外なキキメがあいるが、養命酒を試して見ると、意外なキキメがあい。 ら、三度の食事が迚も『味しく進み、元氣が山て、朝さいと爽めてゐた、この老人は養命酒をのみ初めてかさいと爽めてゐた、この老人は養命酒をのみ初めてかる。或る老人が、それでは湿肚劑の養命酒をのんでみない。 とるにつれだん (〜 視力が衰へるのに、郷門の) 倦怠の人 體質の人 衰弱の人 命酒の東京出張所を尋ねると、大勢の人々 れても、ハツキリしてきたと喜れてゐる。 にでも、ハツキリしてきたと喜れてゐる。 から、いろくしな問題報告がまつたく文 病後回復期等な根無難經衰弱の人根無薄弱の人の人を強力を受ける。

報思感謝日



虚物體質の改善

り易い

國民體位向上は先づ此邊から

楽器と言って し深れ

從つ て非常時は紫更

にあってかざの耐寒に、即もことはなり軽大さを加べます。一個ないはなり軽大さを加べます。一個ないはなり軽大さを加べます。一個ないのはなりではなりではなりではない。

銃後の婦人 女性達の健康對策は如何… と健認

迫る冬の脅威を前に、病弱な

安原が確認さども開発される症 とうなものかと明して とうなものかと明して 我態が不良で、皮 続して、身間に大切なダ



がも時には既に知家園が原伏し で野て機能さえあれば師ちに最 ながっるやうなが顧な嫉妒にある があれば師ちに最

に民國の二第 を裝武の康健

ものです。 遊が鏡音組の子に復い音楽です。 火夫な上に復い音楽です。 火夫な上に復い音楽です。 火夫な上

等の呼吸器短腕を配射化じて を開かり、一般なりで見れば、 を開かり、 を開かり、 を開かり、 を開かり、 を開かり、 を関すると対に、 も有効なが出とされて関ります。 を関するが出とされて関ります。 を関するが出とされて関ります。 を関するが出とされて関ります。 を関するが出して を関するが、 をできるが、 をできなが、 をできなが、 をできなが、 をできなが、 をで とDのみを凝取した新時代のヴ が簡用されて限ります。 乏は訳

けて関ります。 傷気に振り易く、何となく序気に鉄 傷気に振り易く、風邪や呼吸器の 高抵抗力が弱くて、風邪や呼吸器の

秋の員動總

とのないやうにするのが大好でないかと信じます。ダイタミンないかと信じます。ダイタミンないかと信じます。ダイタミンないかと信じます。ダイタミンないかと信じます。ダイスミンないかと信じます。

(姉妹品) 毛を 沖ばす

をできた。 アイロンでける跡を でも実験が解析は、皮下 でを変して毛板を埋ひ、 でも大くで、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででいます。 でででは、 でででいます。 ででは、 でででいます。 ででは、 でででいます。 ででは、 でででいます。 ででは、 でででいます。 ででは、 でででいます。 でででいます。 ででは、 でででいます。 ででは、 でででいます。 ででは、 ででいます。 ででいまな。 ででいまな。 ででいまな。 ででいなな。 ででいなな。 ででいな。 香油です。 絶様におらず、ひからサータとして

批判力の鋭敏な 醫家並に其御家庭も 一段の魅力を添へます。

用の上、皆様に推奬して下さいますョウモトニックだけは、進んで御常

それには何を指いても 止しい養毛料を御常用下さい 易々と艷を増し、無造作なお髪にも満揃され、抜け毛を制へて、毛髪は、 第一に離く浮上つたフケや汚れは スの行届いた、何ん其云へなく奥床 無造作でもスツキリとよく しいお髮にあります。

銃後女性の

躾なみ

雄々しき非常時女性の

美と愛の象徴は



深い影味・供い意質・生記 分 な い

> 1 10 £1"

Min Security of the security o

本 17 y ح ۵ E が E あ ŋ 8 3 8

35セン・55セン・75セン

七源野天 店商源近 蒜 京東 舖本

資極的に大乗に呼びかける高

梯子で城壁で突入する皇軍

関の定費前約に採車をかけ、

した金属技府 | 1億リ目主演信息及び本府で臨議 | 来だその方法などに就いては決定

小句便審查數 潛鳥調

る中五日名川大尉に統して半島銃は半島総役を守る人々に代つて来

婦人が寄附

時局の峠は遠い

謝と敬意を表してゐるが、南魏者 | 十二日の敬老、愛幼デーに傳播者

かしい武勲に半島同胞は心から脳

長壽者の献金

間記載、三線公児奉化、國民籍 | 鮮嫩根委員会院事食の決議として

· 東西、主西政事、東己杰書、

か日本大革、政務課監通程政に明 官公響に在職する官公吏の年賀郷 を進いている現在の幾では全峰各

向上等の運動に乗出し、関民・組織が競せられることとなる機様

目壁を促してその複雑を取げた

僧大原に元誉前約 | 複輯、雌雄 | ひは郷止せて毎年の通りとするが

して資格的に出でない模様で

から傾倒による年聖郷便勢別取扱

年賀郵便は扱ふが

官公吏は遠慮せよ

将兵一死奉公を誓ふ

金指揮官は十一日左の如

日本前十二結牛三種市別合・た全軍の階長は等しく郷位、中の極端を系式は発養の十二機関緊張した、網絡を茶飯し天東十三日世襲」出を渡ま、一角建設の祭職に

一死率公の鍵を以て聖官に副

北支派遣皇軍の

謹んで語る

われ等全國民の職分 が總動員の實こそ

心造の頭にも緊張の色が浮んでの

趣旨を全らすべきでありますし

寮正等の攻略戦に第一部指兵と共一い心に緊張、早速戦会の手順をと 我が○○部隊に從軍して保定、石|蹇田した、黒縄署長も命氏の美し

宮田特派員歸る

保定、石家莊に活躍

海軍へ慰問袋

に難道戦に活躍しつゝあつた本計

りとの戦であり、戦場の邦一線の職ではありません、國力と國一。五代の戦は韓火相見ゆるのみ、

本の発悟を帰属して多大の感飲を

總督に贈る感激

敬老會の席に描かれた

た「窓面中央は宮田特派員)

は、笑ましき場面

放金時間の年後七時半になると背

も再も日本語呼で能用しぶした、機関の揺運動を起し、機器半島の山 島の機指揮官崩總費は時局に目

ける標者の歌待に「はしい情物に心を打たれ、馬碑を「戦ぎて持つてゐたものである」人は龍川宮邸に於「して贈つたが、唐穂背ももだった版」としてその馬牌を家職とし、脱斗 ら思陳を取り出し、糖香に混念とと歴にぶら下げてるた動観の姿か されて、そのまま輪つては自分「總督さんからこんなに大事に の気持が囲まない」

れ、それ以来既家では一家の名響

命し、蘇令と同時に馬牌を下防さ

はその難功を表彰し職行御使に任は元季朝時代の高官で、時の官延 水と供存するとになった、脚手

定したもの五千四十二件、建設品二八十七人、十月中の新人類金暫に存す。その審査の結果系統品と供、今婚を要求したもの一處に子四百十二人で物の後田申貨數は八千四百四十二二世前で、収後ノ七十月中の一朝で金

獻金、獻納、

慰問

部隊將兵に

半島民を代表して送る

衛戦を横ける○○部隊の将兵を逃



判明した死者

を心動法いで製作、十六日から十 三男士の作者戸張幸男氏は『勝利』

亡確實存を著直以十四、行方不明 報告に依れば、その被害状況は死

國、總督が引續いて午後七時五十分か 服と覺情を興へた、放送を終った

派員宮田香氏は十三日午後二時 一分点城野省一の 八一 で開城 國民機制作載選出第七日、朝原版 名が「非常時の根膜控制は光づ第

一般に活躍する泉軍へ」と、午後 かれ等は美術によ

戦傷将兵を慰問しよう

川克己氏の「花」緊山加氏の「風 い佐藤九二男氏の『空を弾る』猪|姉の家に居侯してゐるうち忠近記 表質器の中堅たる構造で馴染み郷一亡した原因は幼くして精製に死

病專門 動學問題 動學

世紀の

に無難である。機能、操縦上も非

国口等内

皇軍に慰問袋

軍事後援聯盟から送附

鮮計量器株式食肚の裏塀の下

り特に登園にて掲載す金は前船の専作党位度銀配名は一回毎に五十年に五十年十二四五日一

| 100 | 100 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 11

染毛白 (計画) 第一 3 チャッチ

『ツギメナシ軍手製造家募集

ムラ病院

至小村 榮三

當配年每人的北度年初 **命生谷板** 稿本日京東·社本 聘招長所張出 店支鮮朝



が城本町一旭ピル二階 ダ協利 龍山鐵道拐院職員一同は上帝方面

皇軍を慰問

報恩感謝日」に帶同

み 市省

京城府元町一丁目「家園の業業也」 が難る 海 商厅

會

明治原治集計 中 鮮 麥 酒 株 式 會 耐ノ日迄株式名義傳換ヲ停止可致候 昭利拾貮年拾貮月壹日ヨリ定時株主總會終了昭利拾貮年拾貮月壹日ヨリ定時株主總會終了

妣

操作簡單・絕對正確な答を明示する素晴し、機能を持っ國意タイガー!

タイガー計算器株式會財 東城出級所 (東京大学園エノコーニ(日本(3) 119 0)

カー四〇位、風腔掛急に 政府 興南本町三 が辛力 算器

事變は何う響いたか 二し肥松郷女子の外川に光信機を「ドバッグ番つ構はれた事件」 東国立と東情

東海院に構築されるさうですが、件で昨年の十月に比べて三朝の職務兵を観安する愛陶鏡が護山陵、は十月中の数職等件は合計五百七一新聞によりますと名誉の戦傷。 けー月中の数職等件は合計五百七十分といって、 とうよっ

府内に横行

らだと不可素は一般に養骨を與へ、

男が核合ひから頭が出し八十

である。

昨今京城府内に振つ換ひ犯人が横、和信デバード内で質問在中のハン

お互に心を引緊めて

自田锋山丸

|| 全部常局では東のよう言う勝手な||| 全部常局では東のよう言う勝手な||| 名所十三日朝京勝京保安徽|| 七項目に言る陶徹を行ったが、保

一時近畿に自動車を置く事を認っる。「最近のとみられて業者に對し車庫の取締りを採和」陳簡だと「載するものとみられて

である。その外主なものを「寸拾」職マダム宇お西路お纏さんが関連高に針、最既一軒。平均三制徴級」と集に入らなかつた化粧道業の有

づ一番響いてゐるのし料理原の最縮生活の概もしい数字が現れ、ま

柳生帝の頼らしい妻子が現れ、ましたとするいむらしい寛心が寒子が生命の頼らしい妻子が現れ、ましたとするいむらしい寛心が寒子が現れ、ましたとするいむらしい寛心が寒子がれたが本町憲侠を保の調べによる「娘の同一領三分 果最適の二領三

たが本町関係安保の調べによる

悲戀の女自殺

来肥料株式・配料株式・配料・ルイジス・リールを発程度でする業程度でする業程度でする業程度を対象を表現した。

用





生食塩は北渡し































接五・個一 分回 - 6 なま本日

社會天林聚熟各日 東東 元选整 會商雜北社會武林 泉東 元優數